

看護学科

1年

科目名: 健康と法律				担当教員 氏名: 荒木 晴美、品川 洋介、(竹内 智子)		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考	
1	1年次 後期	専門基礎科目	講義	必修		
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:						
授業科目の学習教育目標の概要:				キーワード		
国民の健康にかかわる憲法第25条、保健師助産師看護師法をはじめ保健・医療・労働および国民の福祉にかかわる関係法規について学ぶ。 国民の健康を守るための法律の構造、施策の構造、その法的根拠、看護職として深くかかわる法律の構造とその目指すものについて学ぶ。また、広い視野に立って看護の役割・責任を理解する。				健康 憲法第5条 保健師助産師看護師法 福祉 人権 公衆衛生		
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 5. 6. 9		
A 知識・理解力		<ul style="list-style-type: none"> 健康にかかわる保健、医療、労働に関する法律の概要を理解する 衛生行政および、保健所の機能と役割について理解する。 保健師助産師看護師法とは何かを理解する。 保健師助産師看護師法を基本とした専門職としての職務責任を理解する。 憲法第25条をはじめ国民の福祉にかかわる法律について法律の構造を知る。 				
C 論理的思考力		<ul style="list-style-type: none"> 福祉施策の構造、その法的根拠を学び、看護とのかかわりについて考える。 				
成績評価の基準と方法: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 60 %	レポート: 30 %	発表: %	実技試験: %	その他: 10 %		
特記事項: それぞれの講師によって評価の方法が異なる。講義のときに詳細について説明する。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: レポート、試験については後日、返却する。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容		学習に必要な時間(分)
①【竹内】健康にかかわる保健、医療に関する法律の概要(9月29日)				【予習】テキストの関連項目を読み、学習ポイントを理解する		【予習】120分
②【竹内】健康にかかわる労働に関する法律の概要(10月6日)				【復習】授業資料で復習する		【復習】120分
③【竹内】衛生行政および、保健所の機能と役割(10月13日)						【予習】120分 【復習】120分
④【荒木】社会規範としての法と道徳。看護業務の法律上の責任について(11月11日)				【予習】テキストの関連項目を読み、学習ポイントを理解する		200分
⑤【荒木】保健師助産師看護師法について(11月18日)				【復習】講義で配布する資料で理解の確認		200分
⑥【荒木】看護職の業務に関連する法律、政令、省令、規則についてまとめ(11月24日)				【予習】テキストの関連項目を読み、学習ポイントを理解する 【復習】授業資料で復習する		【予習】100分 【復習】100分
⑦【品川】憲法第25条をはじめ国民の福祉にかかわる法律について法律の構造(10月1日)				【予習】テキストの関連項目を読み、学習ポイントを理解する 【復習】授業資料で復習する		30分
⑧【品川】福祉施策の構造、その法的根拠(10月1日)				【予習】テキストの関連項目を読み、学習ポイントを理解する 【復習】授業資料で復習する		60分
使用テキスト: ナーシング・グラフィカ8「公衆衛生」:メディカ出版(竹内) ISBN978-4-8404-4118-6 C3347 看護職のための関係法規:ヌーヴェルヒロカワ(看護) ISBN978-4-86174-025-1 C3347				その他参考文献など: 国民衛生の動向(竹内) 田村やよひ:私たちの拠りどころ保健師助産師看護師法、日本看護協会出版会、その他資料		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 看護師として、理解すべき関係法規の基礎知識と看護業務の関連を学習する。						